

TOPIC 10 甘くておいしい「メープル」を堪能

4/8-9 驚きの森「メープルまつり」

上茶路「驚きの森」で8、9日の両日「メープルまつり」が開催されました。会場ではメープルベーグルやメープルシュガー、4種のチーズにメープルシロップをかけ、石窯で焼き上げられたピザなどが販売。

8日の初日は、あいにくの雨にもかかわらず大勢の人が訪れ、イタヤカエデの樹液を使ったメープルの味や香りを堪能していました。親子4人で釧路市から訪れた蘆田かおるさんは「メープルを使ったベーグルがほんのり甘くておいしかったです」と笑顔でした。



ピザやベーグルを味わう蘆田さん親子

TOPIC 7 異文化交流を楽しむ

3/28 JICA研修員学校訪問

国際協力機構（JICA）の研修でタンザニアやジブチ共和国などから掘削技術専門学校を訪れた研修員8人が、白糖高校の生徒6人と異文化交流を楽しみました。

異文化交流は、3月7日に掘削技術専門学校と白糖高校が連携協定を結んだことから実現したものです。

この日は、研修生と生徒が箸を使った「豆つかみりレー」や「椅子取りゲーム」などで交流を深めました。

佐々木葉月さん（1年生）は「最初は緊張しましたが、交流ができて楽しかったです」と話していました。



初めて使う箸に苦戦する研修員（左）



白糖吹奏楽団の演奏で迎えられる新入生

TOPIC 11 希望胸に新たな一歩

4/8 白糖高等学校入学式

白糖高校（佐野住夫校長）の入学式が行われ、新入生18人が希望を胸に新たな学校生活をスタートしました。

今年の入学式には白糖吹奏楽団が初めて参加。新入生の入退場時に同校吹奏楽部と合同で演奏し、花を添えました。式では佐野校長が「自らの意思で積極的、主体的に行動し、3年後に満足できる自分になれるよう励んでください」と式辞。新入生を代表して羽賀絃花さんが「学ぶ意欲を持って、誇りある高校生活を送ります」と誓いの言葉を述べました。

TOPIC 8 安心して登下校

4/4 商工会青年部ら防犯ブザー寄贈

商工会青年部（山本哲平部長）と女性部（高橋志保子部長）は、町内3校の新入学児童に入学祝いとして、安全傘（白糖18人、茶路1人）や防犯ブザー（庶路14人）、学習帳を贈りました。防犯ブザーは、音とともにLEDライトが点滅する仕組みになっています。

この日は、山本部長と高橋部長が庶路学園を訪れ、大西展史校長に防犯ブザーと学習帳を手渡しました。

大西校長は「子どものためにという思いを形に表していただき、ありがとうございます」と感謝していました。



右から商工会青年部の山本部長、女性部の高橋部長、大西校長

TOPIC 12 掘削技術で社会に貢献

4/10 第2回掘削技術専門学校入学式

地熱発電などの掘削技術者を育成する学校法人ジオパワー学園「掘削技術専門学校」の第2回入学式が行われ、2期生14人が新たな一歩を踏み出しました。

式では、井上政史校長が「一人一人が研さんに努め、掘削技術への学びを深く掘り下げてください」と式辞。新入生代表の鶴井大晟さんは「社会で功績をあげて、この学園や白糖を盛り上げたい」と決意を述べました。

入学生は10～40代で道内出身者が3人。11人は東京都や富山県、沖縄県など道外から集まりました。



掘削技術専門学校に入学した2期生



緊張した面持ちの新1年生たち

TOPIC 9 学校生活に期待いっぱい

4/7 第1回白糖学園入学式

白糖学園（須藤光秋校長）で開校後初となる入学式が行われ、新1年生18人が学校生活に胸を弾ませました。

式では、保護者と新2年生から4年生までの児童が待つ中、新1年生が緊張した面持ちで入場。担任の先生から名前を呼ばれると「はい！」と大きな声で返事をしていました。

須藤校長は「勉強を頑張る頭、仲良くする心、丈夫な体の3つで、毎日元気に過ごしてください」と式辞を述べ、新1年生を歓迎しました。